

事務事業名		老人福祉施設修繕事業		所属部	健康福祉部	所属課	長寿障がい福祉課			
総合計画体系	政策名	(Ⅲ)地域で支えあう暮らしづくり《保健・医療・福祉》		所属G	高齢者福祉G	課長名	内田 孝夫			
	施策名	(18)高齢者福祉の充実		担当者名	糸原 幸子	電話番号	0854-40-1042 (内線) 3618			
	目的:対象	65歳以上の市民	意図	生きがいを持って、いきいきと暮らす。						
	基本事業名	(053)老人福祉施設等の充実		予算科目	会計	款	大事業	大事業名		
目的:対象	施設入所者	意図	いきいきと暮らす。				中事業	中事業名		
				0	1	1	5	0	2	老人福祉施設管理事業
				0	5	3	5	1	5	老人福祉施設修繕事業

1 現状把握 [DO]

(1) 事業概要

① 事業期間
<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (16 年度～)
<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度～ 年度)
② 事業内容 (期間限定複数年度事業は全体像を記述)
市が設置し民間に指定管理をお願いしている老人福祉施設の建物や設備の修繕を実施。

(2) 事務事業の手段・指標

手段	① 主な活動	25年度実績(25年度に行った主な活動) 施設修繕等に係る指定管理者との協議 修繕工事事務 【かもてらす】特殊入浴装置更新 【えがの里】多目的ルーム主照明LED更新工事、特殊入浴装置更新、給湯管漏水修繕、食器洗浄機修繕 【好老センター】浴槽用ろ過器濾材交換整備、居住棟ミニキッチン更新、居室フローリング工事、厨房食器消毒保管庫更新	26年度計画(26年度に計画する主な活動) 施設修繕等に係る指定管理者との協議 修繕工事事務 【えがの里】多目的ホールカーテンレール修繕 【好老センター】暖房ボイラー更新工事、 【入間ふれあいセンター】グレーチング修繕			
	② 活動指標	単位	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(計画)
ア	市有の老人福祉施設数	施設	24	24	24	24
イ	老人福祉施設の修繕件数	件	21	11	9	3
ウ						
エ						

(3) 事務事業の目的・指標

目的	① 対象(誰、何を対象にしているのか)	65歳以上の市民	③ 対象指標	単位	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(計画)
	ア	65歳以上の人口	人	13,771	14,035	14,246	14,358	
	イ							
	ウ							
② 意図(対象がどのような状態になるのか)	施設の修繕を行うことにより、健康増進・交流・介護サービス等の拠点として高齢者が安心して施設を利用することができる。	④ 成果指標	単位	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(計画)	
ア		修繕発生により施設が使用できなくなった日数	日	0	0	0	0	
イ								
ウ								

(4) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (25年度決算)	② コストの推移	単位	23年度(決算)	24年度(決算)	25年度(決算)	26年度(計画)	
市所有の老人福祉施設の修繕工事	財源内訳	国庫支出金	千円	22,461			
● 需用費(修繕費) 943,026円		県支出金	千円				
● 工事請負費 2,676,975円		地方債	千円				
● 備品購入費 11,684,400円		その他	千円				
計 15,304,401円		一般財源	千円	5,154	2,813	15,304	3,904
		事業費計(A)	千円	27,615	2,813	15,304	3,904
		人件費	正規職員従事人数	人	8	8	8
		延べ業務時間	時間	300	200	300	
		人件費計(B)	千円	1,183	784	1,168	
		トータルコスト(A)+(B)	千円	28,798	3,597	16,472	

(5) 事務事業の環境変化、住民意見等

① 環境変化 (この事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?)	② 改革改善の経緯 (この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)	③ 関係者からの意見・要望 (この事務事業に対して市民、議会、事業対象者、利害関係者等からどんな意見や要望が寄せられているか?)
市有老人福祉施設は、老朽化によりここ数年、修繕箇所が急増している。	指定管理先の法人と修繕要望に係る協議を行っている。修繕の緊急度等により、優先順位を付けて実施している。	早期の修繕実施を要望されている。

事務事業名	老人福祉施設修繕事業	所属部	健康福祉部	所属課	長寿障がい福祉課
-------	------------	-----	-------	-----	----------

2 事後評価【SEE】

A 目的 妥当性	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？ 意図することが結びついているか？		見直し余地があるとする理由
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている * 余地がある場合⇒	
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？ 税金を投入して達成する目的か？		
B 有効性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である * 余地がある場合⇒	
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加する必要はないか？ 意図を限定・拡充する必要はないか？		
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である * 余地がある場合⇒	
C 効率性	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？ 成果を向上させるため現在より良いやり方はあるか？ 何が原因で成果向上が期待できないのか？		理由 年々修繕箇所が増えており、修繕費の確保が難しい。要望に対しては、優先順位を付けて実施している。
	<input type="checkbox"/> 向上余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない	
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 この事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？		
D 公平性	<input type="checkbox"/> 影響無	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有	理由 修繕の内容によっては、施設の使用ができなくなる。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的達成には、この事務事業以外の手段(類似事業)はないか？ ある場合、その類似事業との統廃合・連携ができるか？		
	<input type="checkbox"/> 他に手段がある * ある場合⇒ (具体的な手段や類似事業名)	<input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない	
C 効率性	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？ (仕様や工法の適正化、住民の協力など)		理由 緊急性がある必要最低限の修繕しか実施していない。
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 成果を下げずにやり方の工夫で延べ業務時間を削減できないか？ 正職員以外や外部委託ができないか？		
D 公平性	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由 実際の修繕事務のほとんどは該当の総合センター保健福祉課で実施している。事務の性質上、正規職員以外はできない。
	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？ 受益者負担が公平・公正か？		
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である	
評価 の 総 括	① 1次評価者としての評価結果		② 1次評価結果の総括(根拠と理由) 施設の中には設置後20年を経過するものもあり、雨漏りや空調等の設備不具合など緊急を要する修繕が急増している。限られた予算の中で必要最低限の修繕を実施している。修繕の必要が出た際には、できるだけ早急な対応を行うよう努力している。設備については、長期的な修繕計画が必要である。
	A 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	
		B 有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり
		C 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり
		D 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり

3 今後の方向性【PLAN】

① 1次評価者としての事務事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可		② 改革・改善による期待成果																								
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)		<table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>				コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持		●	×	低下		×	×
				コスト																						
		削減	維持	増加																						
成果	向上																									
	維持		●	×																						
	低下		×	×																						
緊急的なものがほとんどであるので、今後も早急な対応ができるよう工夫していく必要がある。		廃止・休止の場合は記入不要。 コストが増加(新たに費やし)で成果が向上しない、もしくはコスト維持で成果低下では改革・改善とはならない。																								